

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 22 年 2 月 12 日 (2010.2.12)

【公表番号】特表 2009-522857 (P2009-522857A)

【公表日】平成 21 年 6 月 11 日 (2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報 2009-023

【出願番号】特願 2008-548556 (P2008-548556)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

H 0 4 N 5/91 L

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 12 月 10 日 (2009.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マルチメディア配信ネットワーク内の状態変更を管理するための方法であって、前記方法は、

マルチメディアアセットの現在の状態を判断することであって、前記マルチメディアアセットは、第 1 のソースから利用可能である、ことと、

前記マルチメディアアセットの前記現在の状態に起こり得る変更に関する情報を収集することと、

実質的に同等のマルチメディアアセットが、前記起こり得る状態変更が生じた後に、代替ソースから利用可能となるかを確認することと、

実質的に同等のマルチメディアアセットが、前記起こり得る状態変更が生じた後に、代替ソースから利用可能ではない場合、前記起こり得る状態変更が生じる前に、前記マルチメディアアセットのコピーをローカルに記録するかどうか決定する基準を適用することを含む、方法。

【請求項 2】

前記同等のマルチメディアアセットが、前記代替ソースから利用不可能である場合、前記方法は、前記起こり得る状態変更が生じる前に、前記第 1 のソースからの前記マルチメディアアセットをローカルに記録することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記同等のマルチメディアアセットが、代替ソースから利用可能である場合、前記代替ソースからの前記マルチメディアアセットの有効時間 / 日付を判断することと、前記有効時間 / 日付前に、前記マルチメディアアセットのコピーをローカルに記録することとをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

情報を収集することは、利用可能なローカル記憶容量を確認することを含み、基準を適用することは、前記ローカル記憶容量が、前記マルチメディアアセットの記録に十分かを判断することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

情報を収集することは、ローカルに利用可能なチューナの数判断することを含み、基準を適用することは、別の予約された記録と競合することなく、前記マルチメディアアセットを記録するためにチューナが利用可能であるかを判断することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

マルチメディア配信ネットワーク内のマルチメディアアセットの状態変更を管理するシステムであって、前記システムは、デジタル・ビデオテープ・レコーダ(DVR)を含み、

前記マルチメディアアセットの現在の状態を判断する手段であって、前記マルチメディアアセットは、第 1 のソースから利用可能である、手段と、

前記マルチメディアアセットの前記現在の状態に起こり得る変更に関する情報を収集する手段と、

実質的に同等のマルチメディアアセットが、前記起こり得る状態変更が生じた後に、代替ソースから利用可能となるか確認する手段と、

実質的に同等のマルチメディアアセットが、前記起こり得る状態変更が生じた後に、代替ソースから利用可能ではない場合、前記起こり得る状態変更が生じる前に、前記マルチメディアアセットのコピーを前記 DVR に記録するかどうか決定する基準を適用する手段と

を含む、システム。

【請求項 7】

前記同等のマルチメディアアセットが、前記代替ソースから利用可能でない場合、前記システムは、前記起こり得る状態変更が生じる前に、前記第 1 のソースから前記マルチメディアアセットをローカルに記録する手段をさらに含む、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記同等のマルチメディアアセットが、代替ソースから利用可能である場合、前記代替ソースからの前記マルチメディアアセットの有効時間/日付を判断する手段と、前記有効時間/日付前に、前記マルチメディアアセットのコピーをローカルに記録する手段とをさらに含む、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 9】

情報を収集する手段は、利用可能なローカル記憶容量を確認する手段を含み、基準を適用する手段は、前記ローカル記憶容量が、前記マルチメディアアセットの記録に十分かを判断する手段を含む、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 10】

情報を収集する手段は、ローカルに利用可能なチューナの数判断する手段を含み、基準を適用する手段は、別の予約された記録と競合することなく、前記マルチメディアアセットを記録するためにチューナが利用可能であるかを判断する手段を含む、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 11】

マルチメディア配信ネットワーク内のマルチメディアアセットの状態変更を管理する方法であって、前記方法は、

ソースサーバにおいて、マルチメディアアセットの現在の状態を判断することと、

前記ソースサーバにおいて、前記マルチメディアアセットの前記現在の状態に今にも起こり得る変更に関する情報を収集することと、

前記マルチメディアアセットが前記ソースサーバから利用不可能となる前に、ユーザに通知することと

を含む、方法。